

環境目標の設定について

脱炭素社会への転換
～2050年カーボンニュートラルの実現に向けて～



<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/zc-action30/>



エコ・ファースト企業
環境大臣認定

 We Build ECO
Daiwa House Group

2022年6月15日

技術本部 環境推進部

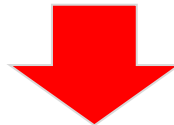
地球温暖化による気候変動が深刻化



大量の エネルギー消費 が温暖化を引き起こす

地球温暖化を防ぐためには

会社単位での 省エネルギー に取り組むことが重要



環境目標設定し実行することで、企業価値を向上させる。

同業他社にない環境対応企業となることで
受注(仕事)や求人(入社)につなげ
経費削減による利益増となる。

身近なことから取組めることを考える

実施例

- ① 節電、節水
- ② ガソリン使用量の削減
→アイドリングストップ、公共交通機関利用
- ③ マイバッグ・マイボトルの持参
- ④ 植物を育て、緑を増やす

3. 環境目標書 (環境目標書 作成事例)



文書名	2022年度 環境目標書		
制定日	2022年7月1日	改訂日	-
会社名	大和工業(株)	保管期間	3年

管理項目例	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標	主な実施事項
電力使用量の削減 (2022年度比)	実績把握 年間使用 電気使用量	2%削減	4%削減	使用箇所のみ電灯使用 昼休みの消灯 照明器具をLEDへ交換
水道使用量の削減 (2022年度比)	実績把握 年間使用 水道使用量	1%削減	2%削減	水道蛇口への節水コマの取付け 雨水貯留タンクの活用による散水、清掃
ガソリン・軽油使用量の削減 (2022年度比)	実績把握 年間使用 燃料使用量	2%削減	4%削減	アイドリングストップの徹底 移動手段に公共交通機関の利用 ハイブリッド車、低燃費型建設機械の使用
マイバッグ使用率の向上 (使用人数/従業員数)	現状把握 マイバッグ 使用人数	10%	20%	レジ袋辞退の推進 マイバッグ運動への呼び掛け
マイボトル使用率の向上 (使用人数/従業員数)	現状把握 マイボトル 使用人数	10%	20%	マイボトルの配布による活用 マイボトル運動の推奨
地域の環境保全活動への参加 (1回/年)	実態調査 環境保全活動	1回	2回	地域の清掃活動等への積極的参加 大和リース 生物多様性活動への協働

4. 協力会社様ができること:公私共に脱炭素を意識した行動

エネルギーを節約・転換しよう!



再エネ電気への切り替え			
公	事務所で使用する電気を再エネメニューに契約変更	私	自宅で使用する電気を再エネメニューに契約変更
クールビズ・ウォームビズ			
公	室温調整不要な服装	私	室温調整不要な服装
節電・節水			
公	事務所・施工現場での電気・水のこまめなON/OFF	私	自宅・外出先での電気・水のこまめなON/OFF
省エネ家電の購入			
公	事務所で使用する家電製品の新規・買替時に省エネ省エネ使用製品を購入	私	自宅で使用する家電製品の新規・買替時に省エネ省エネ使用製品を購入
宅配サービスをできるだけ一回で受け取ろう			
公	受取指定時間の在社を徹底	私	受取指定時間の在宅を徹底
消費エネルギーの見える化			
公	事務所の使用電力量のデマンド監視による管理	私	—

出典:環境省 HP



太陽光パネル付き・省エネ住宅に住もう!

太陽光パネルの設置			
公	事務所新築・改修時に太陽光発電設備を導入	私	自宅新築・改修時に太陽光発電設備を導入
ZEH(ゼッチ):ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス			
公	—	私	自宅新築・改修時に導入
省エネリフォーム 窓や壁等の断熱リフォーム			
公	事務所改修時に断熱仕様の製品を導入	私	自宅改修時に断熱仕様の製品を導入
蓄電池(車載の蓄電池)・省エネ給湯器の導入・設置			
公	日中の余剰電気を貯めて、夜間に利用	私	日中の余剰電気を貯めて、夜間に利用
暮らしに木を取り入れる			
公	—	私	自宅新築時に国産木材を利用
分譲も賃貸も省エネ物件を選択			
公	間取りや立地などに加え、光熱費に差が出る省エネルギーの高さも考え選択	私	受取指定時間の在宅を徹底
働き方の工夫			
公	オンライン会議の活用	私	—

出典:環境省 HP

4. 協力会社様ができること：公私共に脱炭素を意識した行動



CO2の少ない交通手段を選ぼう!

スマートムーブ			
公	—	私	自動車以外の移動手段の選択(徒歩・自転車・公共交通機関)や、エコドライブの実施、カーシェアリングの利用
ゼロカーボン・ドライブ			
公	再エネ電力と電気自動車(EV)・プラグインハイブリッド車(PHEV)・燃料電池自動車(FCV)の活用	私	再エネ電力と電気自動車(EV)・プラグインハイブリッド車(PHEV)・燃料電池自動車(FCV)の活用

食ロスをなくそう!



公	—	私	食べられる分だけの購入、保存を工夫して、食べられるものを捨てない。フードバンクへの寄付。
旬の食材、地元の食材でつくった菜食を取り入れた健康な食生活			
公	—	私	フードマイレージ(輸送量×輸送距離:輸送に掛かるCO2排出量も増える)の小さな食品の購入。
自宅でコンポスト			
公	—	私	生ごみ処理機等を利用し、生ごみを不要にしたり、堆肥を家庭菜園で使用。

出典:環境省 HP

4. 協力会社様ができること:公私共に脱炭素を意識した行動

環境保全活動に積極的に参加しよう!



森林やごみ拾い等の活動

公	地域の環境活動などに参加。	私	地域の環境活動などに参加。
---	---------------	---	---------------

CO2の少ない製品・サービスを選ぼう!



脱炭素型の製品・サービスの選択

公	環境配慮マークの付いた商品やCO2排出量が見える化して商品に表示されている商品を選択。	私	環境配慮マークの付いた商品やCO2排出量が見える化して商品に表示されている商品を選択。
---	---	---	---

個人のESG投資

公	—	私	環境・社会・企業統治の3つの観点から企業を分析、評価した上で投資先を決める。
---	---	---	--

出典:環境省 HP



3R (リデュース・リユース・リサイクル)

修理や補修をする			
公	ものが壊れた時に修理してできるだけ長く大切に使う。古くなったり壊れたものをリメイクする。	私	ものが壊れた時に修理してできるだけ長く大切に使う。古くなったり壊れたものをリメイクする。
フリマ・シェアリング			
公	—	私	ものを捨てる時・増やす時にフリーマーケットで売る、シェアリングやサブスクリプションを利用する。
ごみの分別処理			
公	ごみの発生抑制、再使用、再生利用を徹底し、ごみを減らす工夫をすることでCO2排出量を減らす。	私	ごみの発生抑制、再使用、再生利用を徹底し、ごみを減らす工夫をすることでCO2排出量を減らす。



サステナブルなファッションを!

今持っている服を長く大切に切る・長く着られる服をじっくり選ぶ			
公	洗濯表示を確認し、適切にケアする。先のことを考え購入。	私	洗濯表示を確認し、適切にケアする。先のことを考え購入。
環境に配慮した服を選ぶ			
公	購入時にリサイクル・リユースなど環境に配慮した素材や製造過程などを確認。	私	購入時にリサイクル・リユースなど環境に配慮した素材や製造過程などを確認。

出典:環境省 HP

菅総理大臣(当時)が宣言

2020年10月

政府は2050年までに温室効果ガスの排出を
全体としてゼロにする

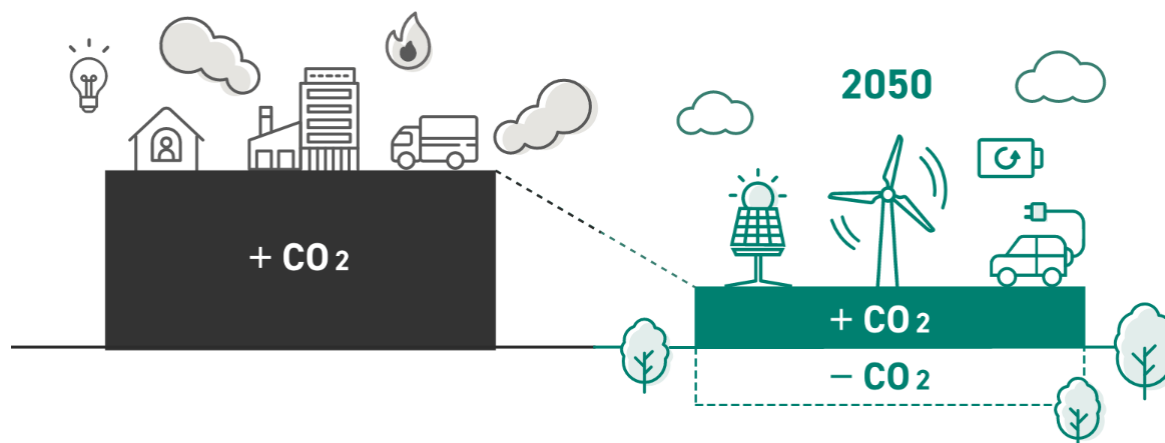
「カーボンニュートラル」

を目指すことを宣言

温室効果ガス（CO₂等）の排出量と吸収量を均衡させること

||

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにする。



カーボンニュートラル達成のためには、温室効果ガスの排出量の削減並びに吸収作用の保全及び強化が必要。

出典：環境省 HP

一人ひとりのライフスタイルの転換が重要

環境省が推進する日常生活
における脱炭素行動



ひとりひとりができること

ゼロカーボン アクション30

 エネルギーを 節約・転換しよう!	 太陽光パネル付き・ 省エネ住宅に住もう!	 CO2の少ない 交通手段を選ぼう!	 食ロスをなくそう!
<ul style="list-style-type: none">1 再エネ電気への切り替え2 クールビズ・ウォームビズ3 節電4 節水5 省エネ家電の導入6 宅配サービスをできるだけ一回で受け取ろう7 消費エネルギーの見える化	<ul style="list-style-type: none">8 太陽光パネルの設置9 ZEH (ゼッチ)10 省エネリフォーム 窓や壁等の断熱リフォーム11 蓄電池 (車載の蓄電池) ・省エネ給湯器の導入・設置12 暮らしに木を取り入れる13 分譲も賃貸も省エネ物件を選択14 働き方の工夫	<ul style="list-style-type: none">15 スマートムーブ16 ゼロカーボン・ドライブ	<ul style="list-style-type: none">17 食事を食べ残さない18 食材の買い物や保存等での食品ロス削減の工夫19 旬の食材、地元の食材でつくった菜食を取り入れた健康な食生活20 自宅でコンポスト
 環境保全活動に 積極的に参加しよう!	 CO2の少ない製品・ サービス等を選ぼう!	 3R (リデュース、 リユース、リサイクル)	 サステナブルな ファッションを!
<ul style="list-style-type: none">30 植林やゴミ拾い等の活動	<ul style="list-style-type: none">28 脱炭素型の製品・サービスの選択29 個人のESG投資	<ul style="list-style-type: none">24 使い捨てプラスチックの使用をなるべく減らす。マイバッグ、マイボトル等を使う25 修理や修繕をする26 フリマ・シェアリング27 ゴミの分別処理	<ul style="list-style-type: none">21 今持っている服を長く大切に着る22 長く着られる服をじっくり選ぶ23 環境に配慮した服を選ぶ

カーボンニュートラルの実現に向けて

会社単位での目標設定や

一人ひとりが環境保全の意識を高め、

出来ることから一つずつ取り組むことで

企業価値の向上につなげる。



環境目標設定から取り組んでみる

P3 参照



Daiwa Lease®
大和ハウスグループ

ありがとうございました。
